

みぬまハウス通信

第32号 2017年12月15日発行
さいたま市見沼区大和田 2-1288-4
NPO法人 みぬまで暮らす会
TEL/FAX 048-796-0295
<http://www.minuma-hausu.net/>

まちの保健室から報告

「最後まで在宅で暮らせるの？」

11月15日、月例の「まちの保健室」が開かれました。19名（うち会員17名）の参加でみぬまハウスはいっぱい、関心の高さが伺えます。司会進行は当保健室の開設当初からの講師で看護師の佐藤さん。当日、テーマを「最期を迎えたい場所を考える」に変更、まず佐藤さんが話題提供。地元医師・酒井先生からの医療的アドバイスや地域包括のケアマネ・本間さんからの情報提供も加わり、「これまでなんとなく抱えていた老後の不安に道筋が見えてきた」という感想が参加者から寄せられました。各ゲストの主な助言内容を紹介します。



▲写真：後列中央佐藤看護師、左へ本間ケアマネ、酒井医師

☆ 看取りの場所は病院でなく在宅または介護施設へという方向に

「多死社会を迎え、病院で死ぬのが当たり前という価値観が少しずつ変わってきています。国の政策も、病院ではなくて、地域でという動きになってきました。自分の人生の最期の場所を選んでいく時代になってきました。最期の時を穏やかに過ごせる在宅という選択肢もあります。」
… たんぼぼ看護ステーション代表・佐藤紀代子さん

☆ 普段からお付き合いして患者さんのご希望に添うかたちで

「彩の国東大宮メディカルセンターの総合診療科で働いていました。これまでは病院側でしたが、医療者にとって一番大切なのはご本人様がどのようにされたいか、それを表明していただくことが大切で、サポートしていきたい。」 … 南中丸クリニック・酒井直先生

☆ 施設選びのポイントは、どういう最期を迎えたいか、どういう看取りを行ってきたか

特別養護老人ホームや老人保健施設等の各介護施設の特徴、看取りの状況についての説明のあと、「どういう最期を迎えたいかを考えておくこと」「その施設がどういう看取りを行ってきたのか、実績を聞いてください」 … 敬寿園ケアマネージャー・本間優太さん

「認知症の人と家族の会」埼玉県支部 世話人の赤羽素子さんにも初参加していただきました。限られた紙面では報告しきれません。詳細を知りたい方は12月20日（水）pm1:30からのまちの保健室にご参加ください。

☆「堀崎町自治会文化祭」に参加しました

11月4日（土）堀崎町自治会の文化祭に参加、絵手紙くらの作品展示や手作り品の販売をして楽しい一日を過ごしました。堀崎町の皆さん、ありがとうございました。

☆「見沼区ふれあいフェア」に出展

11月11日（土）に開催されたふれあいフェアに出展して、みぬまハウスの活動内容の紹介や、バザー品の販売を行いました。皆さんご協力ありがとうございました。



☆「見沼区西部圏域ケアマネ勉強会」に出席

11月21日（火）見沼区役所大会議室で開催された当会に出席しました。地域にサービス提供する関係者、郵便局、社会福祉協議会、宅配弁当等16名とケアマネ50名余が参加、一同に集まって情報交換するのは初めてだそうです。

☆ 会員の活動紹介 … るぴなす文庫

「子どもやお母さんに絵本の素晴らしさを伝えたい」

七里に在住の会員・小池さんがご自宅に「るぴなす文庫」をオープンしました。ご本人が教員時代に集めた蔵書を中心に、子どもと一緒にお年寄りまで楽しめる本が一杯です。素晴らしい本との出会いは子どもの心を豊かにしてくれます。ぜひ訪問してみてください。



開設日は 毎週木曜日
午後2時～5時まで
読書ができ、1人2冊まで2週間無料で借りられます。

← 蔵書の一部



↑ るぴなす文庫入口(玄関内)

☆ みぬまハウスの支援活動 ☆

介護保険利用の訪問介護 / さいたま市訪問型家事支援サービス
移送サービス（福祉有償運送） / 会員同士の助け合い生活支援サービス
困りごとのご相談をお受けします。お問い合わせは ☎048-796-0295

☆ みぬまハウスの年末年始予定

12月28日（木） みぬまハウスはお休み、大掃除
12月29日（金）～1月8日（月）年末年始休業
1月 9日（火）～通常通り営業します。

